

看護を支えるスペシャリスト

専門・認定看護師紹介

専門看護師

専門看護師とは、日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護師分野において卓越した看護実践能力を有することを認められた者をいいます。高知県立幡多けんみん病院看護部では2分野3名の専門看護師が活躍しています。

認定看護師

認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護師分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。高知県立幡多けんみん病院看護部では11分野14名の認定看護師が活躍しています。

幡多けんみん病院の専門・認定看護師

家族支援専門看護師	2名
がん看護専門看護師	1名
緩和ケア認定看護師	1名
がん化学療法看護認定看護師	2名
感染管理認定看護師	1名
感染管理特定認定看護師	1名
集中ケア認定看護師	1名
救急看護認定看護師 特定行為研修修了；外科系基本パッケージ	1名
皮膚・排泄ケア認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション認定看護師	2名
認知症看護特定認定看護師	1名
乳がん看護特定認定看護師	1名
糖尿病看護特定認定看護師	1名
腎不全看護特定認定看護師	1名

* 令和8年3月末時点

専門看護師

家族支援専門看護師

家族支援専門看護師は、患者・家族がひとつの方向に向かって「その家族らしく」歩めるように支えます。家族自身も、大切な家族員の病気の発症により、心理的な動揺や身体的な疲労があります。資源としての家族からケアの対象としての家族へ。患者、家族が持っている力を最大限引き出し、援助できるように努めていきます。宜しくお願いします。

がん看護専門看護師

がん看護専門看護師は、がん患者とそのご家族と共にその人の望む治療や療養について考えたり、がん患者に携わる医療スタッフへの支援や調整を行っています。がんは診断されたとき、治療をするとき、どこで療養するのかなど、多くの事を悩みながら決定しなければなりません。その都度、患者さんやご家族、医療者と共に話し合いながら、その人にとっての最善になるようにしていきたいと考えています。宜しくお願いします。

認定看護師

緩和ケア認定看護師

患者さん・ご家族の苦痛やつらさが和らぐように、主治医や各専門の職種と協力し合い、看護を行っています。その方に合った方法を見つけながら、その人らしさを尊重し、より良い生活ができるよう、様々な場面において切れ目のない適切な緩和ケアが提供できるよう活動しています。

がん化学療法看護認定看護師

化学療法は薬剤の特性や個人によって副作用の出方も異なります。一人一人の患者様の病態や社会的背景を知り、それらの副作用と上手く付き合いながら治療を継続していくために、医師や薬剤師、その他専門職種と協働しながら活動しています。副作用に対応する為には、患者様自身のセルフケアが欠かせませんが、個人に応じたケアを患者様と共に考え、実践出来るように支援して行きたいと思えます。

感染管理認定看護師

患者さん、来院者、院内で働く全職員、施設、環境を対象に医療関連感染リスクを最小限に抑えるために、疫学、微生物学、感染症学、消毒と滅菌、関係法規などに関する専門的な知識を基盤に、効果的で効率的な医療関連感染予防・管理システムを組織的に構築し、推進しています。

院外活動として地域では、感染症や多剤耐性菌の発生状況を収集・評価しながら、医療関連感染予防に関する教育活動やコンサルテーション、行政との連携などの活動を行っています

感染管理認定看護師 特定認定看護師

主に院内のリンクスタッフと協働しながら感染対策の相談、実践を行っています。また特定行為実践として治療で使用される抗菌薬に対しても適正に、かつ迅速に使用して頂けるように、チームで活動しています。感染は目に見えない中で、医療者や患者さんをはじめ、地域の方々に対しても少しでもリスクを減らすことができるよう取り組み、活動しています。

集中ケア認定看護師

生命の危機的状態にある患者さんに対して病態の変化をモニタリング・アセスメントします。そして重症化・合併症予防のため早期介入を行い、入院前の生活に近づけられるよう援助していきます。また、過大な侵襲を受けた患者さんは、ご自身の意思を示せないことが多々あります。同時にご家族も危機的状況にあります。患者さんの事前意思・代理意思決定者の意思を尊重できるよう、その時々で最善の治療・看護を行っていただけるよう努めています。

救急看護認定看護師（特定行為研修修了：外科系基本パッケージ）

救急患者は、年齢・性別・疾患の内容・重症度を問わず、いつでもどこでも発生します。救急看護とは、あらゆる状況下で生じた傷害や疾病の発症によって、医療を必要とする患者さんへの、救急処置、緊急度・重症度の判断、医療行為の介助、生活行動援助、精神的サポートなどを行うことをいいます。また、患者さんの家族へのサポートも行います。私は、HCUと救急外来で勤務をしており、実践及び教育活動を行っています。「看護とは何か」「看護の成果とは何か」を誰にでも説明することができる認定看護師として、患者さんの退院後の生活を見据えた看護を考え、実践していきます。

皮膚・排泄ケア認定看護師

創傷ケア・ストーマケア・失禁ケアの3分野の相談を受けて、日々組織横断的に活動しています。相談に対して、問題解決の提案や実践、指導をおこなっています。外来では主にストーマケアに従事し、患者さんや家族の思いを尊重し、寄り添うことを大切にしています。また、他施設からのコンサルテーションによる活動も実施しています。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

外来

病棟と連携して脳卒中再発予防支援などを中心に活動しています。脳卒中で入院している時や退院されたあとで、脳卒中に関することでお困りのことなどがありましたら、『脳卒中相談窓口』も開設しておりますので、お気軽に相談していただければと思います。医師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士とチームを組んで、さまざまな困りごとに対応できるように取り組んでいきたいと思っています。

病棟

病棟に入院された脳卒中患者さまやご家族へのケアを中心に活動しています。脳卒中は、急な発症で身体的にも精神的にも苦痛を感じる病気です。また、病気なった患者さまだけでなく、そのご家族もさまざまな苦痛を感じます。その苦痛をできる限り緩和し、患者さまおよびご家族の思いに沿った支援をさせていただきたいと思っています。病棟スタッフや脳卒中に関わる職種と協力しながら、入院から退院まで支援していきます。

認知症看護特定認定看護師

～その人の思いを尊重する看護～

外来の相談窓口対応と、入院中の高齢者・認知症の人のケアを担当しています。高齢者・認知症の方は、入院すると身体の不調に加え、いつもと違う環境に戸惑うことが多くあります。アセスメントとケア実践、病棟カンファレンス、院内デイケアの活動を通して、患者さんが安心して療養ができる環境を整え、その人が大切にしてきたこと、持てる力、ご家族の思いに沿った看護ができるよう支援していきたいと思っています。また、高齢者・認知症の人を意思ある人として捉え、意思決定支援、安全な療養と身体抑制などの課題に、認知症サポート委員会をはじめ、院内の多職種で連携し最善のケアができるよう支援していきます。

乳がん看護特定認定看護師

私は外来と病棟で乳腺の相談やアピランスケアを行っています。医療の進歩を背景に、乳がん患者さんの治療は長く複雑化しています。特徴は乳がんの性質により、手術、薬物療法、放射線療法など様々な治療を組み合わせ、妊孕性温存、遺伝子検査を受けるのか、術式、乳房再建も同時に考えていく必要があり、脱毛や乳房切除に伴うボディイメージの変容も伴うことがあります。治療のメリット、デメリットを十分に理解され、患者さん・ご家族らしい治療選択、生活との両立など多岐にわたるサポートをしていきたいと考え活動しています。

糖尿病看護特定認定看護師

糖尿病とともに生活をする患者さんが、「その人らしい生活」を送りながら治療を継続できるよう、多職種と連携し入院中だけでなく退院後の生活も見据えた継続的な支援を行っています。インスリン療法や血糖管理、合併症予防など個々に合わせたサポートを提供しています。また、フットケア外来を通じて足病変の早期発見・重症化予防に取り組み、評価やケアをすることに加えて日常生活でのセルフケア指導を行い、「自分の足で歩き続ける」ことを支援しています。

腎不全看護特定認定看護師

近年、透析看護認定看護師から名称が変わり、腎臓病の初期から透析看護に至るまで幅広い視点で活動していくことが求められるようになりました。腎臓は臍臓と並び沈黙の臓器と呼ばれており、腎機能が悪くても無症状で過ごされることが多く、気がついたときにはかなり進行していることが多い病気です。また、糖尿病から腎症を発症する方が増加しており、透析治療へ移行しない為にも、いかに予防していくかが重要になってきます。患者さん自身がその人らしく充実した人生を送ることができるよう意思決定支援を含め、その手助けを微力ではありますが、サポートしていきたいと思えます。